

# 活動完了報告

## 「パリ国立高等音楽院サクソフォン科第一課程での留学・研究」

平井 亘

### 《報告および成果》

この度、さわかみオペラ芸術振興財団様の寄付制度によりいただきました皆様の寄付は、パリ国立高等音楽院サクソフォン科第一課程での留學費・研究費に充てさせていただきました。研究の一環として、2023年4月に開催された第9回「アンドラ国際サクソフォンコンクール」に参加しました。このコンクールで優勝するために、留學当初より半年間の時間をかけ準備して参りましたが、思い通りの結果をいただくことは出来ず、一次審査で敗退となりました。もちろん結果は自分で決めるものではなく、審査員が判断するものではありますが、良い演奏をしたにもかかわらずこのような結果になってしまい非常に悔しく思います。

このコンクールでは、演奏ひとつひとつがYoutubeにアップロードされています。一次審査で演奏しました課題曲の一曲は、他の参加者の誰よりも私の演奏動画の再生回数が多くなっています。この事実は、私の演奏が間違いなく良い演奏であったこと、沢山の方の耳に届き感動を与えることが出来たと胸を張ってよいと思います。また、当初より掲げておりました、世界的なサクソフォン奏者になるために国際コンクールを通して名を揚げるという目標にも良い結果をもたらしたと考えています。

今回は初めて国際コンクールに出場しましたが、私自身の今後の課題を発見し、次の国際コンクールに向けて良い経験ができました。国際コンクールでの曲目に取り組むことで、パリ国立高等音楽院教師のクロード・ドゥラング先生と共に、サクソフォンの新たなレパートリーの開拓、奏法の研究をより深めることが出来ました。

### 《今後の課題》

今回のコンクールの敗因として、環境の適応力が足りなかったことが挙げられます。そのひとつが音程についてです。普段とは違うヘルツ（音程）で調律されたピアノに本番で対応出来ませんでした。今後は音楽性だけでなく音程の面からも改善する必要があると思います。

国際コンクールへの挑戦は続いており、現在は 2023 年 11 月に開催される第 8 回「アドルフサクソス国際コンクール」を控えて練習に励んでいます。今回の経験、反省を必ず活かし、それらをもとに次のコンクールではより良い結果を残すことができるよう努めます。また、これからもサクソフォンと自身の更なる発展を求めて研究を続けて参ります。

### 《その他》

研究成果として、「アンドラ国際サクソフォンコンクール」の公式 YouTube チャンネルにて公開されている

私の演奏動画を以下に提示します。

課題曲 Elegie Op. 44 / Alexander Glazunov

<https://youtu.be/IKzaK54kIgA?si=WCOGpOTuhxj-WDf9>

課題曲 Three pieces for Solo Clarinet / Igor Stravinsky

[https://youtu.be/NbaZw0c\\_NtU?si=TghItQMhtqcfsxa](https://youtu.be/NbaZw0c_NtU?si=TghItQMhtqcfsxa)

以上